

一度も聞かされなかつたことを悟つたからだ。

わたしたちの聞いたことを、誰が信じえようか。

主は御腕の力を誰に示されたことがあるうか。

乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように

この人は主の前に育つた。

見るべき面影はなく

輝かしい風格も、好ましい容姿もない。

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ

多くの痛みを負い、病を知っている。

彼はわたしたちに顔を隠し

わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。

彼が担つたのはわたしたちの病

彼が負つたのはわたしたちの痛みであつたのに

わたしたちは思つていた

神の手にかかり、打たれたから

彼は苦しんでいるのだ、と。

彼が刺し貫かれたのは

わたしたちの背きのためであり

彼が打ち碎かれたのは

わたしたちの咎のためであつた。

彼の受けた懲らしめによつて

わたしたちに平和が与えられ

彼の受けた傷によつて、わたしたちはいやされた。

わたしたちは羊の群れ

道を誤り、それぞれの方角に向かつて行つた。

そのわたしたちの罪をすべて

主は彼に負わせられた。

苦役を課せられて、かがみ込み

彼は口を開かなかつた。

屠り場に引かれる小羊のように

毛を刈る者の前に物を言わない羊のように

彼は口を開かなかつた。

捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。

彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか

わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり
命ある者の地から断たれたことを。

ら、わたしにささげることが惜しまなかった。」

アブラハムは目を凝らして見回した。すると、後ろの木の茂みに一匹の雄羊が角をとられていた。アブラハムは行ってその雄羊を捕まえ、息子の代わりに焼き尽くす献げ物としてささげた。

《アブラハムはその場所を「主は、備えて

くださる（イルエ）」と名付けた。そこで、人々は今日でも「主の山に、備えあり（イレエラエ）」と言っている。》

主の御使いは、再び天からアブラハムに呼びかけた。御使いは言った。

「わたしは自らにかけて誓う、と主は言われる。あなたがこの事を行い、自分の独り子である息子すら惜しまなかったのです、あなたを豊かに祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海辺の砂のように増やそう。あなたの子孫は敵の城門を勝ち取る。地上の諸国民はすべて、あなたの子孫によって祝福を得る。あなたがわたしの声に聞き従ったから

である。」

答唱詩編 〔典〕 98 ①②⑤ (詩編 16・5、8、11)

〔答〕 しあわせな人、

神の恵みを受け、その喜びに生きる人。

神よ、あなたはわたしの受けるゆずり、わたしの受ける杯。

・わたしの道を開くかた。〔答〕

わたしは絶えず神を思う。

・神はわたしのそばにおられ、

わたしはけっしてゆるがない。〔答〕

あなたはいのちの道を示してください。

・あなたの前にはあふれる喜び、

あなたのもとには永遠の楽しみ。〔答〕

ファラオの馬、戦車、騎兵がことごとく彼らに從つて海の中に入つて来た。朝の見張りのころ、主は火と雲の柱からエジプト軍を見下ろし、エジプト軍をかき乱された。戦車の車輪をはずし、進みにくくされた。エジプト人は言った。「イスラエルの前から退却しよう。主が彼らのためにエジプトと戦つておられる。」

主はモーセに言われた。「海に向かつて手を差し伸べなさい。水がエジプト軍の上に、戦車、騎兵の上に流れ返るであろう。」モーセが手を海に向かつて差し伸べると、夜が明ける前に海は元の場所へ流れ返つた。エジプト軍は水の流れに逆らつて逃げたが、主は彼らを海の中に投げ込まれた。水は元に戻り、戦車と騎兵、彼らの後を追つて海に入ったファラオの全軍を覆い、一人も残らなかつた。イスラエルの人々は海の中の乾いた所を進んだが、そのとき、水は彼らの右と左に壁となつた。主はこうして、その日、イスラエルをエジプ

ト人の手から救われた。イスラエルはエジプト人が海辺で死んでいるのを見た。イスラエルは、主がエジプト人に行われた大いなる御業を見た。民は主を畏れ、主とその僕モーセを信じた。モーセとイスラエルの民は主を賛美して歌をうたつた。

答唱詩編 〔典〕 79 ①②③

(出エジプト15:1b+2b, 3+4+5, 6+16bc)

〔答〕 神よ、あなたはわたしの力、わたしの守り、救い。

神をたたえよう、神は栄光を現し、馬と戦車を海に投げ入れられた。

神よ、あなたはわたしの神、わたしの先祖の神、わたしはあなたをあがめる。〔答〕

神は勇者、その名は主。

聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（使徒言行録2・14、22―33）

神はこのイエスを復活させられた。わたしたちは皆、このことの証人である

使徒たちの宣教

〔五旬祭の日に、〕ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。「ユダヤの方々、またエルサレムに住むすべての人たち、知っていたいただきたいことがあります。わたしの言葉に耳を傾けてください。

イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、イエスを通してあなたがたの間で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたがたに証明なさいま

した。あなたがた自身が既に知っているとおりです。このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまつたのです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということはありません。ダビデは、イエスについてこう言っています。

『わたしは、いつも目の前に主を見ていた。

主がわたしの右におられるので、

わたしは決して動揺しない。

だから、わたしの心は楽しみ、

舌は喜びたてる。

体も希望のうちに生きるであろう。

あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、

あなたの聖なる者を

朽ち果てるままにしておかない。

あなたは、命に至る道をわたしに示し、

御前にいるわたしを喜びで満たしてくださいさる。』

兄弟たち、先祖ダビデについては、彼は死んで

葬られ、その墓は今でもわたしたちのところにあ

ると、はっきり言えます。ダビデは預言者だった

ので、彼から生まれる子孫の一人をその王座に着

かせると、神がはっきり誓ってくださいったことを

知っていました。そして、キリストの復活につい

て前もって知り、

『彼は陰府に捨てておかれず、

その体は朽ち果てることがない』

と語りました。神はこのイエスを復活させられた

のです。わたしたちは皆、そのことの証人です。

それで、イエスは神の右に上げられ、約束された

聖霊を御父から受けて注いでくださいました。あ

なたがたは、今このことを見聞きしているので

す。」

答唱詩編 〔典〕 98④⑤ (詩編16・10、11)

〔答〕 しあわせな人、

神の恵みを受け、その喜びに生きる人。

あなたはわたしを死の国に見捨てられず、

あなたを敬う人が

朽ち果てるのを望まれない。〔答〕

あなたはいのちの道を示してくださいさる。

あなたの前にはあふれる喜び、

あなたのもとには永遠の楽しみ。〔答〕

続唱 (任意) 「復活の続唱」〔典〕 351

アレルヤ唱 〔ア〕 533② (詩編118・24、または典 266(八日間))

〔ア〕 526②、または典 264(八日間)を用いることもできる

アレルヤ、アレルヤ。きょうこそ神が造られた日、
喜ぶうたえ、この日とともに。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（マタイ28・8―15）

わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように
言いなさい。そこでわたしに会うことになる

マタイによる福音

「そのとき、」婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

婦人たちが行き着かないうちに、数人の番兵は都に帰り、この出来事をすべて祭司長たちに報告した。そこで、祭司長たちは長老たちと集まって相談し、兵士たちに多額の金を与えて、言った。「弟子たちが夜中にやって来て、我々の寝ている間に死体を盗んで行った」と言いなさい。もしこ

のことが総督の耳に入っても、うまく総督を説得して、あなたがたには心配をかけないようにしよう。」兵士たちは金を受け取って、教えられたとおりにした。この話は、今日に至るまでユダヤ人の間に広まっている。

奉納祈願

神よ、あなたの民の供えものを顧みてください。信仰告白と洗礼によって新たないのちに生まれた人々が、まことのしあわせにあずかることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

叙唱 復活一―五（114―116ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（ローマ6・9）

キリストは死者のうちから立ち上がられた。死は

もはや、キリストを支配することがない。アレルヤ。

復活の火曜日

週日・白

拝領祈願

いのちの源である父よ、わたしたちの心をキリストの復活の恵みで満たしてください。救いの道を歩むわたしたちが、恵みにふさわしい日々を送ることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

アレルヤ唱について

復活の月曜日から復活の土曜日までのアレルヤ唱の傍点
は、ア 533の旋律に従ってつけてあります。

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（シラ15・3―4参照）

神はいのちの水を注がれた。

新しいのちに生まれた者は、

神のわざをとこしえに喜び歌う。アレルヤ。

栄光の賛歌

集会祈願

聖なる父よ、あなたは、御ひとり子の復活によって、わたしたちに救いをもたらしてくださいました。あなたの民にいつも恵みを注ぎ、神の子の自由と喜びのうちに歩ませてください。聖霊の交わ

すべての人の父である神よ、過越の神秘によって新たにされた人々が、不滅のからだに復活し、あなたの栄光をたたえることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

復活節第二主日（神のいつくしみの主日） 主日・白

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（一ペトロ2・2）

乳を求めるみどりごのように、あなたがたはいのちの糧を求め、救いを得よ。アレルヤ。

栄光の賛歌

集会祈願

あわれみ深い神よ、あなたは、キリストのとうとい血によってわたしたちをあがない、水と聖霊によって新しいいのちを与えてくださいます。年ごとに主の復活を祝うわたしたちが洗礼の恵みを深く悟り、信仰に生きることができるよう。聖

霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読

A年（使徒言行録2・42―47）

信者たちは皆一つになって、
すべての物を共有にした

使徒たちの宣教

「信者たちは、」使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。

すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業とするしが行われていたのである。信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事

B年（使徒言行録4・32―35）

信じた人々の群れは
心も思いも一つにした

使徒たちの宣教

信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言う者はなく、すべてを共有していた。使徒たちは、大いなる力をもって主イエスの復活を証しし、皆、人々から非常に好意を持たれていた。信者の中には、一人も貧しい人がいなかった。土地や家を持っている人が皆、それを売っては代金を持ち寄り、使徒たちの足もとに置き、その金は必要に応じて、おのおのに分配されたからである。